lyocity

いよっこ すまいる

10月号 ほけんだより

令和8年10月　病児・病後児保育室「いよっこすまいる」

こんな病気に注意！
インフルエンザ　感冒
RS ウイルス感染症
花粉症（ブタクサ・ヨモギ）
マイコプラズマ肺炎　など

気候がよく、体を動かすのに気持ちのよい季節となりましたね。
朝夕は肌寒いこともあり、寒暖差が出てくる時期でもあります。服装を調節するなど体調管理に気をつけていきましょう。

また、過ごしやすい日が続く一方で、これから感染症が増えてくることが予想されます。手洗い・うがいを丁寧に行うなど、改めて子どもさんと一緒に確認してみましょう。

涙の役割

涙には、様々な役割があり、瞬きによって出てきます。
◎ 目の表面（角膜）の乾燥を防ぎ、傷の治りを早める。
◎ 細菌やアレルギー物質を洗い流す。
◎ 目の表面に酸素や栄養を運ぶ。

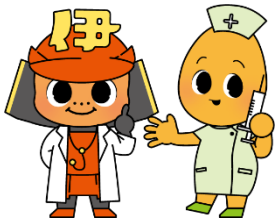
子どもの目の健康に気をつけましょう

～10月10日は目の愛護デーです～

子どもの視力は6歳ぐらいでほぼ大人と同じまでに発達します。
乳幼児期のトラブルで視力の発達がうまくいかなかった場合、その後に視力をのばすのは難しいことがあります。

普段から子どもの目の状態には注意をし、以下のような様子が見られたら早めに受診しましょう。

○ 目を細めたり、目をしかめたりする。
○ 横目で物を見ることが多い。
○ テレビなどを極端に近づいて見る。
○ 必要以上にまぶしがる。



主な目の病気

ものもらい
まつげの根元にばい菌が入って、腫れたり赤くなったりする。

逆さまつげ
まつげが内側に向いて生えているなど、まつげが目に入りチクチクする。

流行り目（流行性角結膜炎）
目が真っ赤になって涙が出たり、まぶたが腫れたりして、目がゴロゴロした感じになる。

アレルギー性結膜炎
花粉、動物の毛、ゴミなどにより、目がかゆくなる。